



# 東京都立両国

高等学校  
附属中学校



私が輝ける場所

令和6年度入学生用 学校案内

# 未来への 架け橋



校長 金田裕治

本校は、明治34（1901）年に東京府立第三中学校として現在の中央区築地に開校以来、120年を超える歴史を誇り、自ら考え、自ら学ぶ「自律自修」を校訓とする伝統校です。

この歴史のある本校は、明治、大正、昭和、平成と時代が移る中、創立から100年以上が経過した平成18（2006）年に附属中学校を開校し、中高一貫教育校として新たな道を歩み始めています。社会情勢が様々に変化しても、本校も進化を続け未来への架け橋となって、有為な人材を数多く輩出するという伝統を築いてきました。

現在、グローバル化が進んでいる我が国においては、新しいテクノロジーやロボット・AIによって、労働市場が激変すると言われています。また、健康、栄養、医療、衛生などの多分野におけるイノベーションによって、平均寿命は大きく上昇し、2007

年生まれの50%は107歳まで生きると推測されています。まさに、これからの未来を生きる皆さんです。

このように、激変することが予測される未来社会を切り拓くための資質・能力を若者に育み、生涯に渡って探究を深める未来の創り手として送り出していくという使命は、これまで以上に求められています。

両国は、伝統を受け継ぎながらも、質の高い授業を実現するとともに、キャリア教育である「志学（こころざしがく）」や、生徒の興味・関心に応じて主体的に研究する「探究活動」などの取組によって、高い「志」を実現する学校、「リーダー」を育成する学校を目指して、教職員一丸となって教育活動に取り組んでいます。私たちは、様々な可能性を秘めた皆さんの夢と未来を応援します。

## 本校の概要

# TOPIC 1

### 伝統

生徒・卒業生と教職員の努力、そして地域の方々の理解と協力に支えられた伝統校です。「自律自修」を教育方針としています。

### 授業

本校の基本は授業です。基礎をしっかりと固めたら、課題の探究や高いレベルの内容へと発展します。授業はチャイムとともに開始され、特別な事情がない限り授業を欠かすことはせず、「授業を大切にする」を基本方針として指導しています。

### 育てたい生徒像

- ・自らの未来を切り拓く意欲と行動力を持ち、リーダーとして活躍できる生徒。
- ・広く深い教養と知性を身につけ、社会に貢献しようとする高い志と使命感をもった生徒。
- ・健やかな心と体を持ち、世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒。

### 沿革

- 1983（昭和58）年 現校舎完成
- 2001（平成13）年 創立百周年記念式典挙行
- 2006（平成18）年 附属中学校開校
- 2009（平成21）年 中高一貫教育校の教育課程での高校がスタート
- 2011（平成23）年 創立百十周年記念式典挙行
- 2021（令和3）年 創立百二十周年記念式典挙行

### 本校出身の著名人

- ・ 芥川龍之介（作家）
- ・ 堀辰雄（作家）
- ・ 石田衣良（作家）
- ・ 立原道造（詩人）
- ・ 小池昌代（詩人）
- ・ 杉山寧（日本画家）
- ・ 新田ユリ（指揮者）
- ・ 大河内一男（元東大総長）
- ・ 郷通子（元お茶の水女子大学学長）
- ・ 深代惇郎（「天声人語」コラムニスト）
- ・ 大塚範一（アナウンサー）
- ・ 関野吉晴（医師・探検家）

他多数



# 教育課程

# TOPIC 2

## 中学校 教育課程表

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年	国語	社会 (人と社会)		数学			理科			英語			音楽	美術	保健体育			技術・家庭	道徳	特別活動	総合	(講習)										
2年	国語	社会		数学			理科 (人と自然)			英語			音楽	美術	保健体育			技術・家庭	道徳	特別活動	総合	(講習)										
3年	国語	社会 (人と文化)		数学			理科			英語 (実践英語)			音楽	美術	保健体育			技術・家庭	道徳	特別活動	総合	(講習)										

## 高等学校 教育課程表

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学I		数学A		化学基礎	物理基礎 地学基礎 より 1科目 選択		体育	保健	音楽I 美術I 書道I より 1科目 選択	英語 コミュニケーション I		論理・表現 I	情報I	総合的な 探究の 時間		ホーム ルーム												
2年	文学国語	古典探究	公共	数学II		数学B		生物基礎	体育	保健	英語 コミュニケーション II		論理・表現 II	家庭基礎	日本史探究・世界史探究 物理 化学 より 1科目 選択		探究的 時間	ホーム ルーム															
3年 文系①	文学国語	体育	英語 コミュニケーション III	論理・表現 III	古典演習	古典講読	日本史演習 世界史演習 より 1科目 選択		日本史演習 世界史演習 理科基礎演習I より 1科目 選択		英語特講	自由選択		ホーム ルーム																			
3年 文系②	文学国語	体育	英語 コミュニケーション III	論理・表現 III	古典演習	古典講読	日本史演習 世界史演習 より 1科目 選択		日本史演習 世界史演習 理科基礎演習I より 1科目 選択		数学C	文系数学 演習	自由選択	ホーム ルーム																			
3年 理系①	文学国語	体育	英語 コミュニケーション III	論理・表現 III	化学 生物 地学 より 1科目 選択		物理演習 化学演習 より 1科目 選択	数学III		数学C		自由選択	ホーム ルーム																				

※1年次「総合的な探究の時間」の1時間は、都設定科目「人間と社会」として代替履修する

### POINT!

- ・難関国公立大学等の入学試験に必要な大学入学共通テスト6教科8科目に対応したカリキュラム編成です。
- ・難関国公立大学等の二次試験に対応したカリキュラム編成です。
- ・「総合的な探究の時間」は、高校1、2年の2年間で学習します。
- ・各教科の授業では、思考力や判断力を重視した指導を行っています。
- ・各教科の指導において、6年間を見通した一貫した教科指導を行っています。





# 教育の柱

## 理科・数学教育の充実

数学教育では、答えに至る過程を重視した授業を行い、数式を羅列するだけでなく、論理的に表現することを重視した指導を行っています。

理科教育では、実験・観察を多く取り入れ、知識のみに偏ることなく、科学的な考察力・表現力を高める授業を実施しています。

また、グループでの話し合いや発表活動も重視し、コミュニケーション能力の向上にも力を入れ、生きていくために必要な総合力を身につけさせることを目標としています。



## 言語能力の育成

すべての教科でグループ活動やスピーチ、プレゼンテーションなどを用いて、対話的な学びを通じた言語能力の育成をしています。

ここではディベートやパネルディスカッションなどを通して相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めていきます。また、言葉の具体性・抽象性を的確に把握し、表現を工夫して小説や短歌、俳句などの創作活動や論文の執筆活動を行います。これらの活動を通して、豊かな言語能力を養成していきます。

## 「志学」

本校では、中学校で実施しているキャリア教育活動を総称して「志(こころざし)学」と呼んでいます。この名称は本校の校歌の一節から着想を得ており、“学問への情熱と社会貢献のための志”の精神を将来のキャリア選択における軸に据えてほしいという想いが込められています。広い知見を得るために多様な職業の方々のお話を伺うだけでなく、職場体験等を通じて現場でしか得られない経験も重視しています。そうして得られた「志」の芽をその後の総合的な学習等において更に育んでいきます。



## 英語による コミュニケーション

日本人と外国人講師（ALT・JET）による協働授業が行われ、また、JETは常駐しているため、いつでも生の英語に触れる機会があります。

「入学してすぐは、ALL ENGLISHでの授業に驚きましたが、次第に英語を英語のまま理解できるようになってきました。」（在校生）  
6年間の中で全員が必ず英語ディベートに挑戦します。「留学経験がない私ですが、昼休みや放課後も気軽にJETの方と会話ができただけで、今では大学のディベート部に所属しています。」（卒業生）

外国人講師による授業でのライブ添削、また放課後の添削指導もあり、外部検定・大学受験対策に必須の英作文も含めて実践的なライティング力の育成も行っています。



# TOPIC 3

## 世界を見据えた国際理解教育

国際人として自他の伝統・文化を尊重し、様々な分野で活躍できる人材の育成を目指しています。

### ①海外学校間交流

令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間、海外の学校との交流を積極的に推進する学校として、東京都教育委員会から指定されました。令和3年度に、カンボジアのバイヨン中等学校と姉妹校締結を結び、定期的に姉妹校交流を行っています。中学校では主にオンラインでの交流、高校では12月末に姉妹校での文化交流を含むスタディーツアー（「私の未来を探す旅」）を行っています。現地でも国際支援を行っている日本の方々を訪ねたり、海外の同世代と接したりすることで異なる文化や考え方、キャリアに触れ、ダイバーシティ（多様性）を尊重できる経験をします。

### ②海外語学研修

中学3年生は、夏季休業中にアメリカ合衆国ユタ州で9泊10日の海外語学研修があります。1人1家庭を目指したホームステイ、現地の大学と連携した英語学習、現地中学生との交流、アクティビティなどを通じて、アメリカの自然・環境・文化・教育などを肌で感じます。また、授業で身につけた英語が相手に通じるという体験が大きな自信につながり、高校でさらに高度な実践英語を学び続ける上での原動力となっています。

### ③特色ある英語教育

中学での海外語学研修、高校での姉妹校訪問等の国際文化交流を念頭に、中学では、単元ごとの発表活動に加えて、「東京の魅力」「日本の伝統と文化」を紹介するプレゼンテーションを実施しています。さらに英語落語の第一人者を招き、実演や指導を受けながら生徒は、英語の落語や小噺に挑戦します。他にも、生徒全員が英語ディベートに取り組み、都立中高一貫校大会や全国大会へ出場し、団体、個人で大きな成果につながっています。多様な言語活動を通じて自ら進んで積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や豊かな国際感覚を醸成しています。

### ・英語検定の実績

中学校は、実用英語技能検定（英検）に全員で取り組んでいます。本校は、海外帰国・在京外国人生徒等の特集募集を行っていませんが、令和4年度は、中学卒業時までには在籍生徒の55%が英語検定2級を取得（中3在籍生徒の92%が準2級を取得）。中学校で英検準1級を目指す生徒（令和4年度延べ10人）が増え、準1級に3人が合格。海外生活の経験はなくても、中学から本格的に英語を学び始め、学校の授業や課題に真摯に取り組み地道に努力し続けることで、高校入学までに海外の学校と交流を図る際に十分な英語力が身につきます。また、近年、高校在学中に海外留学する生徒や、海外の大学に進学する生徒もいます。



# 各科の特色

# TOPIC4

## 国語科 Japanese

両国の国語科は、「自ら考え抜く力と他者と分かち合う力」を育てます。卒業後の進路実現に向けて、しっかりとした学力を定着させるだけでなく、他者との関わり合いの中で長い人生を生きていくために、国語を通して深くじっくりと考える力を育て、考えたことを言葉によって広げたり深めたりすることができる力を養成します。中学校ではさまざまなジャンルの作品の鑑賞や創作活動などを行い、基礎的な読解力と表現力を育てます。高校ではあらゆるジャンルの文章を正確に読み取る能力を養い、言語活動を通して自己を取り巻く世界に対して問題意識を持ち、自らの意見を明確に表現する能力や、それを伝え合い、分かち合う力を養成します。



## 数学科 Mathematics

両国の「数学科」では、6年間の体系的な指導を通して、基礎・基本を徹底し、数学の基本的な概念・原理・法則等を理解するとともに、これらに応用する能力を養います。授業においては、答えを導き出す過程を重視し、数学的な思考力を高め、論理的に表現することを重視した指導を行っています。生徒が演習問題の解き方を発表する授業や、グループワークを取り入れた授業も行い、自分の考えを工夫して分かりやすく他者に伝えたり、他者と話し合いながらいろいろな解法を比較・検討したりすることで、生徒の表現力を高めるとともに、主体的に学び、深く考える力を育成しています。



## 英語科 English

大学入試にも通じる揺るぎない英語力と実践的コミュニケーション能力を養成します。21世紀型の学力を有するグローバルリーダーの育成を目標に、中高問わず英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく習得し、実践的コミュニケーション能力の向上を図る授業を行っています。「話すこと」を中心とした授業を展開し、批判的思考力を高めています。特に、単元ごとに全員が行う英語でのプレゼンテーションは、本校の伝統です。6年間の様々な特色ある授業を通じて、留学経験がなくても中学修了時で9割程度が英検準2級以上、3割以上が英検2級以上、高校卒業時で半数近くが準1級以上、または、同程度の英語力を有し、共通テスト・国公立大学入試だけでなく(4技能を重視する)私立大学入試等に対応する英語力が自然とつわられていきます。



## 社会科 Social studies

社会科では、社会的な見方・考え方を働かせ、諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質能力の育成を目指します。中学1年生では地理と歴史、中学3年生では公民を、調べたり、グループで話し合ったり、発表をするなど、みなさんが主体的に参画し学びます。高校では、社会科が地理歴史科と公民科に分かれます。地理歴史科では、地理総合・歴史総合が必修科目で、地理探究・日本史探究・世界史探究を選択科目として学びます。公民科では、公共が必修科目で、倫理・政治経済を選択科目として学びます。各科目を専門とする先生方がみなさんを待っています。一緒に、楽しい授業をつくっていきましょう。



## 理科 Science

実験・観察を多く取り入れ、科学的に探究する方法を重視した授業を実施しています。また、中学においても分野別に専門の教員がほとんどの授業を担当し、発展的な内容にも積極的に取り組ませています。グループでの話し合いや発表活動も日常的に行い、活気のある授業を展開しています。夏期講習は多数の講座を開講し、受験対策にも万全を期しています。実験の一例：オワンクラゲの緑色蛍光タンパク質(GFP)の遺伝子を組み込んだプラスミドDNAを、大腸菌に導入して発現させ、大腸菌を光らせる実験を、高校3年生の理系生物選択の講座で実施しています。実体験を通して遺伝子発現の仕組みや無菌実験操作について学ぶことができます。



# 両国生の1日

# TOPIC5



～8:15  
朝の登校

電車やバスを利用しています。  
最寄り駅からは  
徒歩5分程度で好評です。  
高校生は自転車を  
利用している生徒もいます。



8:15～  
朝の学習

毎朝5分程度の  
ミニテストを  
行っています。  
継続は力なり!

8:25～  
朝学活



8:40～12:30  
午前授業

アクティブラーニングを中心とした  
活気ある授業が多く展開されています。



12:30～13:15  
昼休み



15:10～  
終学活

13:20～15:10  
午後授業



15:20～  
清掃

責任を持って活動できるよう  
指導しています。



～17:00  
放課後・部活動

運動部・文化部合わせて多数の部活で  
生徒は活動しています。  
また先生に質問する生徒も多く放課後も  
活気に溢れています。(18時まで延長可)



部活動  
CLUB

- サッカー ●硬式テニス
  - バレーボール(女子)
  - バスケットボール\* ●バドミントン\*
  - 運動部 ●水泳 ●卓球\* ●軟式野球
  - 文化部 ●管弦楽\* ●理科\* ●美術\* ●茶華道\*
  - コンピューター\* ●演劇\* ●家庭科
- \*の部活動は中・高合同で活動しています。



7月 中1 林間学校



7月 中2 English Summer School



4月 校外学習



4月 入学式



6月 体育祭

## 中学校

# 学校生活

ガイダンス<sup>1年</sup>  
 新入生歓迎会<sup>1年</sup>  
 校外学習

始業式<sup>2年3年</sup>  
 入学式<sup>1年</sup>

4

入学式<sup>1年</sup>  
 始業式<sup>2年3年</sup>  
 新入生歓迎会<sup>1年</sup>  
 ガイダンス<sup>1年</sup>  
 校外学習

中間考査

5

中間考査  
 個人面談  
 第1回模試<sup>3年</sup>

体育祭

6

GTEC  
 保護者会  
 進学懇談会<sup>3年</sup>  
 体育祭

海外語学研修<sup>3年</sup>  
 English Summer  
 School<sup>2年</sup>  
 林間学校<sup>1年</sup>

期末考査

7

期末考査  
 第1回模試<sup>1年2年</sup>  
 第2回模試<sup>3年</sup>

文化祭

9

宿題テスト  
 第4回模試<sup>3年</sup>  
 文化祭

## 高等学校

部活動  
CLUB

- 弓道 ●剣道 ●硬式テニス ●硬式野球
  - サッカー ●山岳 ●水泳 ●卓球\*
  - バスケットボール\* ●バドミントン\*
  - 運動部 ●バレーボール(女子) ●陸上競技
  - 文化部 ●地学 ●演劇\* ●管弦楽\* ●ギター ●美術\*
  - コンピューター\* ●茶華道\* ●生物\*
  - 文学 ●放送 ●社会科研究 ●漫画研究
  - 料理 ●ジャズ研究 ●ESS ●化学 ●物理
- \*の部活動は中・高合同で活動しています。



4月 入学式



9月 文化祭



6月 体育祭



# TOPIC6

夏服  
SUMMER

冬服  
WINTER



※希望する女子はスラックスも購入出来ます。



7月 中3 海外語学研修



9月 文化祭



2月 合唱コンクール



3月 球技大会



3月 校外学習

中間考査

10

中間考査

第5回模試 3年

職場体験 2年

11

第2回模試 1年2年  
第6回模試 3年

期末考査

12

期末考査

冬期講習  
スキー教室 1年

百人一首大会

卒業研究  
発表会 3年

1

宿題テスト

第3回模試 1年2年

合唱コンクール

2

合唱コンクール

校外学習  
球技大会

卒業式 3年  
修了式 1年2年  
学年末考査

3

学年末考査  
修了式 1年2年  
卒業式 3年

芸術鑑賞教室 1年2年  
修学旅行 2年



2月 合唱コンクール



3月 2年修学旅行



3月 卒業式

夏服  
SUMMER

冬服  
WINTER



※希望する女子はスラックスも購入出来ます。



12月 スキー教室

# 両国高校で “夢”をつかもう!

“第一志望大学への進路実現”これが本校の進路指導の第一目標です。例年多くの生徒が本校の授業を通して自分の夢を実現しています。特に本校の自慢は現役で国公立大学へ進学する生徒が多いことです。伝統的に国公立大学志望者が多い本校では、毎年卒業生の3人に1人前後が現役で国公立大学へ進学しており、これは全都立高校の中でもトップを争う高い割合です。もちろん早・慶・上智を始め、有名私立大学へ進学する生徒もたくさんいます。

## 基礎基本の充実 予備校に頼らない授業

そんな両国高校の1日は始業前の朝学習から始まります。本校では中学1年生から高校3年生まで、毎日基礎的な内容を確認する小テストや演習を行っています。その他、定期考査後の追試験、長期休業明けの宿題テスト、提出が求められる授業の課題もたくさんあります。毎日こつこつと努力する、その積み重ねがやがて難問に立ち向かうときの土台になるのです。“アクティブ・ラーニング”で知られる両国高校ですが、まずは、基礎基本を充実させることを重視しており、実はこれこそが自前で高い合格率を生み出す秘訣なのです。

## 発展的教育活動の展開 未来へ向けての飛躍

本校では従来の講義型の授業に加え、生徒自らが能動的に学習するアクティブ・ラーニング型の授業が盛んに行われています。他者と共同して作業を行うペアワークやグループワーク、多くの人の前でスピーチやプレゼンテーション、こういった様々な学習活動を組み合わせて、あらゆる場面に対応できる実践的な学力を身につけていきます。もちろん、こうした高度な学習活動を行えるのは、一人一人に“確固とした基礎知識”が備わっているからです。

“基礎基本の充実”と“発展的教育活動の展開”これが両国高校の授業の両輪です。

# TOPIC7 進路実績

国公立大学名	卒業生5学級					卒業生総数 198		
	H31 卒業	R2 卒業	R3 卒業	R4 卒業	R5 卒業			
	194	193	185	185	現役	既卒	合計	
東京大学	5	6	1	6	5	1	6	
東京工業大学	3	9	3	4	2	1	3	
一橋大学	4	3	3	4	3		3	
筑波大学	8	2	2	*5	*8	*2	10	
東京医科歯科大学	*2	*3	1	1	*2		2	
お茶の水女子大学	1	1	1	1	4		4	
東京外国語大学	3	6	3	4	2		2	
東京芸術大学				1				
千葉大学	*14	11	*15	*14	8	1	9	
東京学芸大学	6	3	1		1		1	
横浜国立大学	3	2	2	5	2		2	
電気通信大学	5	2	1		1		1	
東京農工大学	1	6		1				
東京海洋大学	1	2	2	1				
埼玉大学	1	2		1	1	1	2	
北海道大学	2	3	2	3	2		2	
東北大学	*2	*4	5	5	*1		1	
茨城大学	1				1		1	
旭川医科大学					*1		1	
信州大学	2	1	1		2		2	
名古屋大学			2					
京都大学				3	1	1	2	
福島県立医科大学					*1		1	
九州大学		1			2		2	
香川大学					*1		1	
東京都立大学	2	6	4	7	3	1	4	
埼玉県立大学	2			1				
横浜市立大学	1	1	2	1				
その他の国公立大学	5	7	13	11	6		6	
国公立大学 合計	74	81	64	79	60	8	68	
卒業生に対する 合格者(現役)の割合	33.0%	36.3%	31.9%	38.4%	30.3%			

私立大学名	卒業生5学級					卒業生総数 198		
	H31 卒業	R2 卒業	R3 卒業	R4 卒業	R5 卒業			
	194	193	185	185	現役	既卒	合計	
早稲田大学	35	67	30	46	39	6	45	
慶應義塾大学	*15	*19	19	24	35	3	38	
上智大学	17	19	28	18	27		27	
明治大学	44	48	62	47	66	3	69	
法政大学	23	43	38	41	46	2	48	
立教大学	47	32	34	34	41	2	43	
中央大学	23	14	36	24	30	4	34	
東京理科大学	57	77	38	59	50	1	51	
学習院大学	6	7	6	12	10	1	11	
青山学院大学	12	17	19	22	16	4	20	
明治学院大学	12	6	8	14	14	2	16	
東京女子大学	2	5	9		6		6	
日本女子大学	7	8	8	12	5	4	9	
津田塾大学		11	7	1	5	3	8	
日本大学	29	*38	44	30	44	1	45	
東洋大学	30	38	45	47	35	3	38	
駒澤大学	5	15	7	5	11		11	
専修大学	8	6	15	10	7	1	8	
文教大学	5	2	3	1	6		6	
北里大学	12	9	*7	6	6		6	
昭和大学	3	2	*4	*4	*1		1	
国際基督教大学	1	1	1	1				
芝浦工業大学	24	25	17	18	11		11	
東京農業大学	7	11	10	3	17		17	
東邦大学	*19	6	5	9	9		9	
国際医療福祉大学	*1		2	*3	*1		1	
立命館大学		9	2					
同志社大学	1		2		2		2	
その他の私立大学	119	179	165	156	136	8	144	
私立大学 合計	564	714	671	647	676	48	724	
国公立大学 合計	74	81	64	79	60	8	68	
準大学(大学校)合計	2	2	4	6	1	0	1	
私立大学 合計	564	714	671	647	676	48	724	
短期大学 合計	0	1	1	0	0	0	0	
専門学校 合計	0	0	1	0	0	1	1	
就職 合計	0	0	0	0	0	0	0	
現役進路決定率	80.4%	86.5%	81.6%	89.2%	83.8%			

\* 医学部・医学科合格者を含む

## 過去5年間の大学合格者数

# 在校生・卒業生の声 TOPIC 8

## 魅力的な 人達との 交流

### 附属中学校 生徒会長



両国に入学して二年が経過し、この学校のいいところとは何かと聞かれて、まず思い浮かぶのは個性あふれる先生や学友のことです。

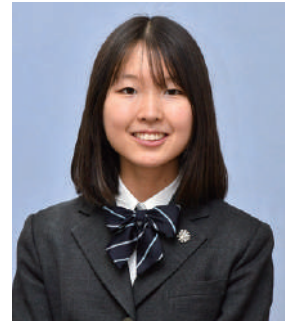
私もそうなのですが、両国には、例えば電車や戦国武将、生物、音楽など、何かに熱中している人や負けず嫌いな人が多いと思います。そのため、みんな何かしらの得意分野を持っており、学友との普段の会話からも新しい知識や考えを得ることができます。テストでも優秀な学友たちと共に刺激し合い、より身を引き締めることができます。周りとの切磋琢磨できる環境は両国の魅力だと思います。

魅力的なのは生徒だけではなく、両国は先生にも恵まれています。普段の授業では教科書をそのまま教えるのではなく、自作のプリントを使ったり、多くのペアワークがあったり、自分の経験を語ってくださったりなど、面白い授業を展開してくださいます。また、両国は課題の量が多いと言われていたのですがただ多いだけではなく、質問に対し先生方が丁寧に回答してくださり理解を深めることができます。

中学に進学すると、普段の生活や部活動、委員会で、先生や友達と接する機会が増えます。皆さんも両国に入って魅力的な人達と過ごしてみませんか？

## 成長できる 場所

### 高等学校 生徒会長



両国高校・附属中学校は、部活動や委員会、行事などに積極的に取り組む人が多い学校です。自分に務まるか不安なことがあっても、それらをやり遂げた後は大きな達成感を得ることができます。また、そのような活動を通して同級生だけでなく先輩や後輩と関わることも多いです。周囲の人の姿から学ぶことは沢山あり、互いに高めあえる仲間の存在はとても貴重なものだと思います。

個性的な授業も両国の特徴の1つです。楽しく学び、内容が定着するようにどの授業も工夫されています。発表活動やグループワークが豊富に取り入れられており、ただ知識を学ぶだけではなく背景も含めた深い理解を促してください。内容が難しかったり、課題が多かったりするときも、いつでも質問できる環境があることや、先生方が授業中の雑談で場を和ませたり、励ましたりしてくださることで、意欲的に勉強に取り組むことができます。私たち生徒に真剣に向き合ってください先生方の存在はとても心強く、恵まれた環境で学んでいると感じています。

両国での日々は忙しい時もありますが、その分得るものも沢山あります。皆さんも両国で充実した学校生活を送ってみませんか。

## 素晴らしい チーム 両国

### 東北大学 医学部医学科 進学



私が長いようで短い受験期間を乗り越え、第1志望校に合格できたのは間違いなく両国での生活があったからです。50分間の授業ではたくさんの知識を得たり、自分の考えを表現したりすることが出来ます。基礎から応用までを学べる授業をしっかりと受講し、テストや宿題に真剣に取り組むことで合格に必要な力を少しずつ身につけていけたと思います。また、授業だけではなく、両国の先生方の手厚いサポートにとっても助けられていました。過去問の添削を依頼したときには、細かく採点をしてくださり、ひとつひとつ丁寧にフィードバックをしてくださいました。先生方は過去問の添削だけではなく、面接指導・小論文指導・進路相談など幅広くサポートしてください。親身になってお話を聞いてくださる先生方のおかげで私は合格を手にすることが出来たのだと思います。

それに加えて両国の生徒はみな勉強熱心です。高校3年生の時には学校が開いている限り残ったり、長期休みは朝から晩まで学校に来たりして勉強をしていました。受験勉強をしている中で、辛いときもありましたが、周りの友人が頑張っている姿を見て諦めずに最後まで突き進むことが出来ました。受験は個人戦だけではなく、互いに励まし合うチーム戦という一面もあります。両国は個人としてもチームとしても受験に必要な力を身につけることが出来る学校だと思います。皆さんも是非、恵まれた環境で充実した学校生活を送り、夢を追いかけてください。

## 充実の 6年間

### 東京地方裁判所 判事補



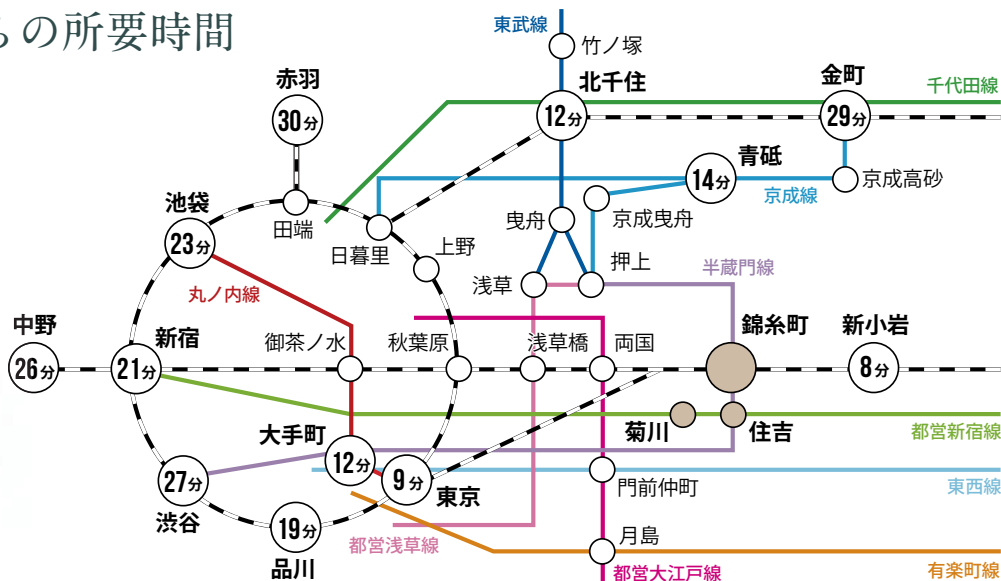
私は本校を卒業し、一橋大学と東京大学法科大学院で法律を学び、司法試験合格後、現在は裁判官として働いています。

両国附属中・高校での6年間の学びは、私の学習への姿勢や頭の使い方基礎を構成してくれました。本校は、熱意にあふれた面倒見のいい先生方と、目標に向かって切磋琢磨する友人に恵まれています。中高一貫校の強みを活かし、附属中在学中から、高校での学習内容に備えたレベルの高い授業を受けられることも大きな魅力です。私自身、大学受験直前期以外は学習塾等に頼らず、授業の予習復習に加え、先生に授業外で課題の提供や添削をお願いしたり、同期達とお互いに得意科目を教え合ったりすることで、受験を乗り切ることができました。

また、本校では、勉強だけでなく、行事や部活動にも一生懸命取り組み、かつ、これらの課外活動運営について、先生方のバックアップを受けながらも、生徒が自分達で試行錯誤する裁量が広く、私も、体育祭や文化祭、合唱コンクール、部活動や生徒会の活動を通じて、ものごとをやり遂げることの難しさ・面白さを学ぶことができました。

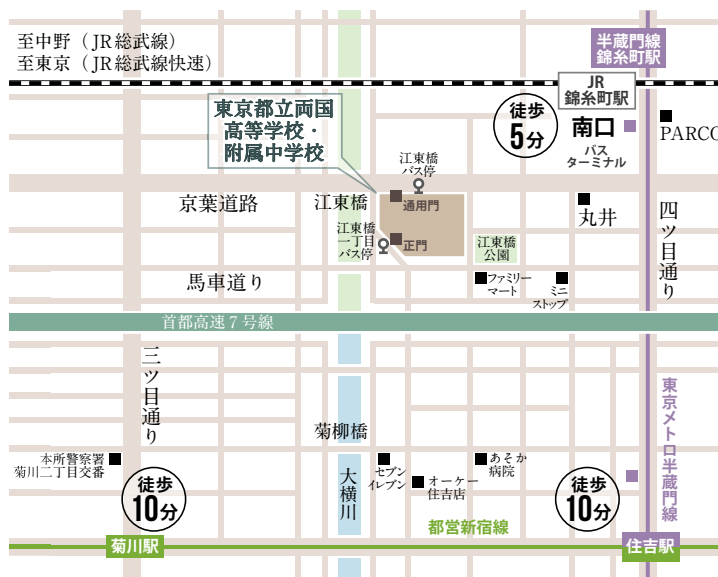
両国での学習・学校生活は、きっと充実したものになると思います。一人の卒業生として、皆さんのご入学を心よりお待ちしております。

## 主な駅からの所要時間



## 学校周辺図

- JR総武線・東京メトロ半蔵門線  
／錦糸町駅 徒歩5分
- 都営地下鉄新宿線  
／住吉駅 徒歩10分  
／菊川駅 徒歩10分
- 都営バス停留所  
／江東橋 徒歩1分



## 学校説明会

### 見学会

- 6月17日(土)※

### 説明会

- 9月23日(土)※
- 10月7日(土)※

### 願書配布説明会

- 11月23日(木・祝)※

### 授業公開

- 6月24日(土)
- 9月30日(土)
- 10月28日(土)

### 体験授業

- 8月予定※

その他 夏季休業中にミニ見学会を予定しています。※

※詳細は学校webサイトでご案内します。



東京都立両国高等学校・附属中学校

〒130-0022 東京都墨田区江東橋 1-7-14

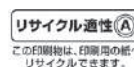
TEL: 03-3631-1878 (中)

03-3631-1815 (高)

FAX: 03-3846-6682



<https://www.metro.ed.jp/ryogoku-h/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

再生紙を使用しています  
石油系溶剤を含まないインキを使用しています